「ブラタモリ」の歴史と現状
The history of Buratamori

*林 幹雄[1]
*Mikio Hayashi[1]

1. 日本放送協会
1. Japan Broadcasting Corporation

▼番組開発の経緯
「ブラタモリ」は2008年12月に深夜のパイロット番組として始まりました。当時ＮＨＫには番組開発という部署があり、そこに所属していた私を含む4人で立ち上げました。内容は「原宿・表参道」。多くの人が当たり前に目にする都市の風景を紐解いていく内容は深夜番組にもかかわらず多くの反響を呼びました。

▼レギュラー開始
その後2009年10月から翌年3月まで、夜１０時の43分番組として全15回のレギュラー放送が始まります。タモリさんのＮＨＫレギュラー番組出演は「ウォッチング」以来、実に20年ぶりでした。以後毎年10月から3月までのレギュラー番組として3年続きます。かつての町の姿をこうだったに違いないと再現した「妄想ＣＧ」のほか、タモリさん自身が撮影した「ブラタモ写真館」も話題になりました。番組開発当時の資料をまじえてお話します。

▼最初のブラタモリの作り方
見え方はほとんど今と変わっていませんが専門家の多くは工学部系の都市設計・開発や街づくりの研究者でした。何より今と違うのはディレクターの街歩きの回数です。「言葉の謎解き」はありませんでしたが「不思議な風景」をタモリさんが発見し、その理由を探って行くという作りでした。視聴者が良く知っている東京を舞台に、あまり知られていない不思議な風景や話題を探すのは大変で、文字通り靴の底が磨り減るほど歩き回りました。

▼現状
2015年４月からのレギュラー放送は今に至る毎週土曜１９：３０からの番組で、多くの方にご覧頂いています。「ブラタモリ」は、あくまで街歩き番組ですが、随分「地質」に偏った番組になりました。今のレギュラーが始まって5年。回によって「地質」だけでなく「歴史」「地理」「風俗」「文化」を総動員して、これからも街や土地の成り立ちを解き明かす魅力的な番組であり続けたいと思っています。

キーワード：タモリ、ブラタモリ
Keywords: TAMORI, Buratamori

©2019. Japan Geoscience Union. All Right Reserved.